チャレンジ!

大熊光男の ペーパークラフト上級テクニック

● 関節を自由に可動させてみよう

写真のように、パイプ状のパーツを作ってそれぞれに接着すれば、可動式で自由なポーズがとれるようになります。

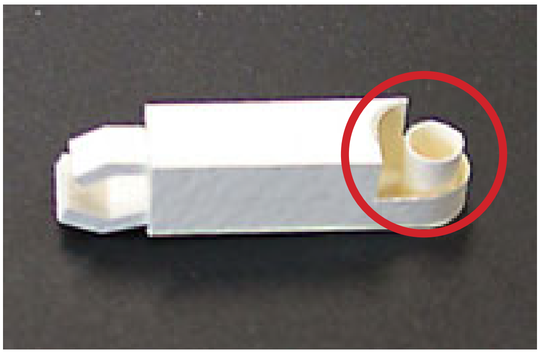


図1　下腕側

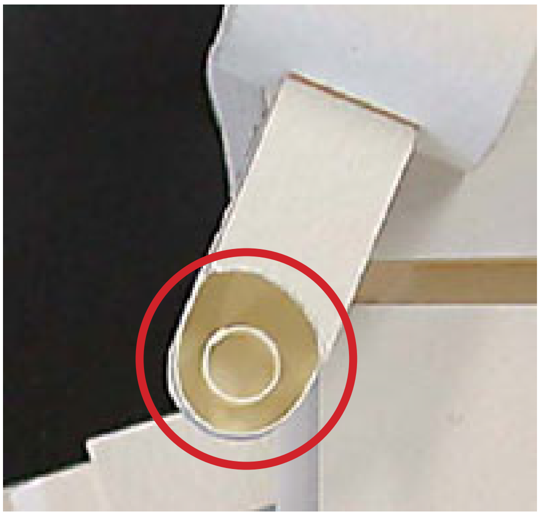
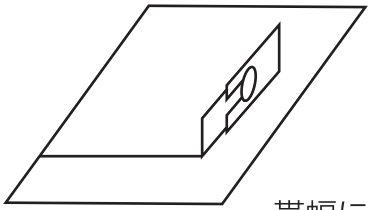


図2　上腕側

● 可動パーツをつくってみよう

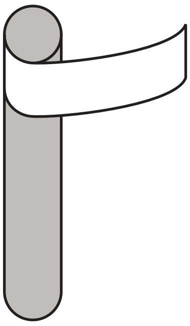
1. キットの余白部を帯状に紙を切り出します。
2. 鉛筆などの丸い棒に1で切り出した紙をのりで接着しながら巻き付けて、内パイプを作ります。
3. 内パイプにのりがつかないように、やはり1の紙を接着しながら巻き付け、外パイプを作ります。
4. パーツに接着します。このとき、各パーツがお互いに干渉しないかどうか注意します。可動パーツがよく乾いてから組み立てます。

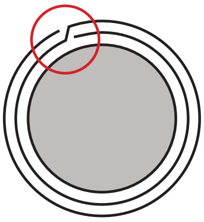
1



帯幅に注意！

2

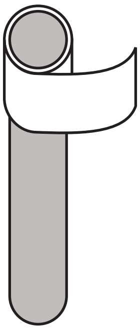




上面図

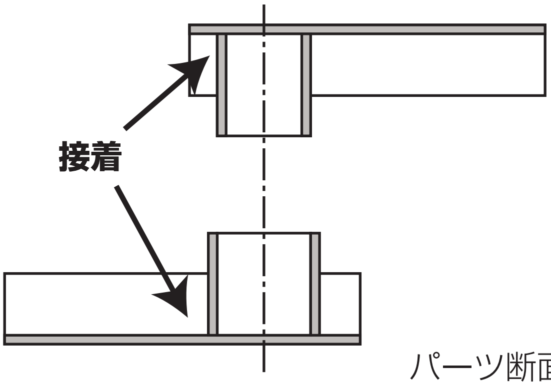
紙を巻くときは、始まりと終わりを同じ位置にすることできれいな円筒に仕上がります。

3



2で作った内パイプにくっつかないように、外パイプを接着しながら巻いて作ります。

4



パーツ断面図